

みなみの小学校校舎等整備基本設計について

平成30年(2018年)2月2日
 教育委員会資料
 教育委員会事務局子ども教育施設担当

1 基本設計

別添のとおり

2 みなみの小学校校舎等整備基本設計(案)に係る説明会の実施結果

(1) 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
12月15日(金) 14時~16時	南中野区民活動センター	9人
12月16日(土) 18時~20時	南中野区民活動センター	5人

3 今後のスケジュール(予定)

平成30年12月 実施設計の策定
 平成29年度末~32年度 旧中野神明小学校校舎解体、新校舎建設工事
 平成32年度 新校舎供用開始

(2) 説明会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	一足制は、校舎内への雨水の持ち込みや児童の床を使った作業への制限などが気になる。	校舎内に雨水等を極力持ち込まないよう動線上の整備を工夫していくほか、床材については汚れにくく、掃除がしやすい素材を検討していく。
②	一足制の場合、体育館は下足で利用するのか。	体育館については、体育館履きでの利用を想定しており、一学年分の下足入れを体育館の前に設置する。
③	キッズ・プラザの活動室や学童クラブ、乳幼児室も一足制なのか。	キッズ・プラザも一足制になる。学童クラブと乳幼児室については靴を脱いで使用することから、それぞれの入口に下足入れを設置する。
④	バルコニーの設置にあたり、児童の安全面はどのように確保していくのか。	落下防止の手すりの設置や形状等、安全性を考慮した整備をしていく。
⑤	児童や教室数に対してトイレの数が少ないように思う。	どの教室の児童がどのトイレを使用するか等のルール化など、利用面での工夫も想定し、今の設置数としている。
⑥	屋上のプールに周りのマンションからの目隠しや屋根は設置されるのか。	高さ制限の関係でプールに屋根をつけることは出来ないが、周囲からの視線対策や直射日光を避けるための工夫をする。
⑦	地域開放型学校図書館について、学校が利用しない時間帯は、1・2階とも区民が利用できるのか。	そのとおりである。
⑧	太陽光発電装置の発電量はどれくらいか。また災害時のために発電機などもあるのか。	発電量は10~30KWを目標に考えている。災害時の電力供給は、必要な諸室を対象としている。発電機は設置しないが、蓄電池を設置する予定である。
⑨	マンホールトイレは設置に適した位置なのか。	非常時には屋上プールの水を使用することになるため、それに適した位置としている。

1 基本設計

別添のとおり

2 美鳩小学校校舎等整備基本設計(案)に係る説明会の実施結果

(1) 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
12月16日(土) 14時~16時	若宮高齢者会館	13人
12月19日(火) 18時~20時	若宮高齢者会館	8人

(2) 説明会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	一足製の導入にあたり、体育館やその他の諸室の使用はどのような想定をしているのか。	体育館については、体育館履きでの利用を想定しており、一学年分の下足入れを体育館の前に設置する。 その他の諸室については、衛生面に考慮した床材の仕様等について検討していくこととしている。 児童クラブと乳幼児室については靴を脱いで使用することから、それぞれの入口に下足入れを設置する。
②	バルコニーについて、児童の動線や安全対策はどのような想定をしているのか。	教室からバルコニーを通り、校庭へ直接出ることが可能となるため、落下防止の手すりの設置や形状等、安全性を考慮した整備をしていく。
③	校舎とキッズ・プラザの間は直接出入りが可能なのか。	緊急時等を踏まえ、校舎内とキッズ・プラザは出入りが可能な設計としているが、通常時は使用しない想定である。
④	旧大和小学校の校舎・体育館への入口にはスロープがなく、車いす利用者にとっては不便なため、新校舎にはバリアフリー対策を徹底してほしい。	スロープの整備等バリアフリー対策を徹底していく。
⑤	多目的トイレ(誰でもトイレ)が1階のみの設置となっているが、身体障害等の児童も入学する可能性もあるので、上階にも多目的トイレを設置してほしい。	多目的トイレは1階の他、3階にも設置していく。

	主な質問・意見	区の考え方
⑥	性同一性障害の児童に配慮した施設整備を考えると、更衣室は男女以外にも必要ではないか。	運用での工夫も含め、検討していく。
⑦	給食室の上部にプールが設置されているが、水漏れ等の対策はしているのか。	水漏れ等の対策をしてあるほか、プール層の下には防水仕様の配管ピットがあり、仮にプール層から水が漏れても下階への水漏れを防ぐ構造となっている。
⑧	校舎の耐震性について、どのような基準を設けているのか。	東京都の構造設計指針における耐震性の目標水準を踏まえ、通常の建物の耐震基準よりも1.25倍の耐震性を有した構造計画としている。
⑨	妙正寺川の地盤は脆弱であるが、何か対策を講じるのか。	地盤沈下しないよう、地盤が固いところまで杭を打つ設計としている。
⑩	備蓄倉庫と防災倉庫が妙正寺川沿いに設置してあるが、浸水対策等はするのか。	床面を他のフロアよりも高くするなど、浸水対策も考慮のうえ整備していく。
⑪	校庭を人工芝にするという事だが、どのような芝にするのか。	児童・地域での校庭の利用を踏まえ、教育環境に適した人工芝の材質とするよう検討している。
⑫	緑化スペースについてはどの範囲を整備するのか。	外構及び屋上での緑化スペースの確保を検討している。

3 今後のスケジュール(予定)

平成30年12月
平成29年度末~32年度
平成32年度

実施設計の策定
旧大和小学校校舎解体、新校舎建設工事
新校舎供用開始

桃園小学校・向台小学校統合新校舎等整備基本設計について

平成30年(2018年)2月2日
教育委員会資料
教育委員会事務局子ども教育施設担当

1 基本設計

別添のとおり

2 桃園小学校・向台小学校統合新校舎等整備基本設計(案)に係る説明会の実施結果

(1) 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
12月14日(木) 18時~20時	弥生区民活動センター	7人
12月18日(月) 18時~20時	弥生区民活動センター	9人

(2) 説明会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	一足制の導入にあたり、雨天時の児童の長靴はどこに置くのか。	長靴の置き場所については、学校関係者の意見も踏まえ検討しているところである。
②	一足制の導入にあたり、体育館の使用はどのような想定をしているのか。	体育館履きでの利用を想定しており、一学年分の下足入れを体育館の前に設置する。
③	キッズ・プラザも一足制なのか。下足入れはどこに置くのか。	キッズ・プラザも一足制になる。学童クラブと乳幼児室については靴を脱いで使用することから、それぞれの入口に下足入れを設置する。
④	教室へのバルコニーの設置にあたり児童の安全性はどのように確保するのか。	落下防止の手すりの設置や形状等、安全性を考慮した整備をしていく。
⑤	音楽室の防音対策をしっかりと欲しい。	防音対策については十分に配慮することとしている。
⑥	教室にエアコンは整備されるのか。またトイレは洋式にするのか。	エアコンは普通教室の他、特別教室等にも整備する。また、トイレは全て洋式にする。
⑦	学校には図書館指導員が1名いたが、開放図書館と学校図書館の両方を見ることになるのか。	地域開放型学校図書館は、児童の優先的スペースや時間帯は設定するが、区立図書館と同じような曜日や時間帯で一般利用にも供するものである。図書館司書有資格者を配置し、学校図書館指導員としても従事することを予定している。
⑧	校舎が現在の3階建てから4階建てになるが、校舎北側の日照は配慮されるのか。	日影規制を踏まえ、4階建ての校舎のうち北側境界に近い部分については2階建てとする。

	主な質問・意見	区の考え方
⑨	太陽光発電装置の発電量はどれくらいか。また、災害時は使用できるのか。	発電量は10~30KWを目標に考えている。災害時の電力供給は、必要な諸室を対象としている。
⑩	防災の観点からマンホールトイレや災害用井戸は重要である。今後、改築していく校舎には原則として整備していくものなのか。	今後、改築していく校舎にも整備していく。
⑪	現在ある樹木や石碑はどうするのか。	校舎等の整備に影響のある樹木については伐採する必要がある。新校舎には新たに植樹を進めていく。石碑については、外構計画に合わせて移設を考えていく。
⑫	民地と隣接する壁や樹木についてはどうなるのか。	外構計画と合わせて、壁などの形状や樹木について検討していく。

3 今後のスケジュール(予定)

平成30年12月
平成30年度末~32年度
平成33年度

実施設計の策定
桃園小学校校舎解体、新校舎建設工事
新校舎供用開始